



## 【1】 一種研開催報告

第一種のA・P研究会が5月16日・17日に沖縄産業支援センターで開催されました(写真1)。チュートリアル講演が1件、特別講演が1件、一般講演が9件、計11件の発表が行われました。

電気興業株式会社R&D統括センターワイヤレス研究所の佐藤啓介氏は、「5G向けミリ波帯基地局アンテナ技術」という題目でチュートリアル講演を行いました(写真2・3)。講演では、5G向けミリ波帯基地局装置用フェーズドアレーアンテナについて概説し、5G無線装置の種別(基地局、レピータ)とそれらに適したアンテナの特徴、ミリ波帯アンテナの設計手順や多層基板を用いたアンテナ・回路構成についても詳しく紹介されました。大変実用性高い講演でした。

また、IEEE AP-S福岡chapterの主催で、宮崎大学の横田光広教授による特別講演「電磁波散乱および光波伝搬の研究に携わってきて」が行われました(写真3)。この講演では、円柱によるガウスビーム波の散乱特性や人体モデルによる散乱に関する電磁波や光波の散乱問題の解析手法が詳しく紹介されました。



写真1 研究会の様子

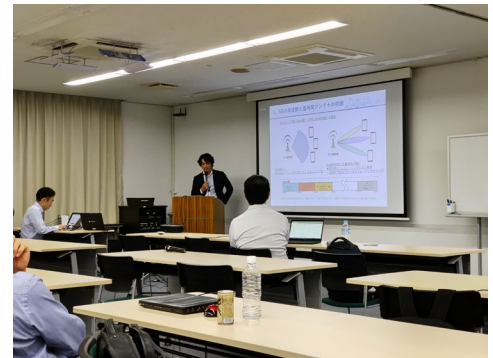


写真2 電気興業佐藤啓介氏の講演様子

## 【2】 アンテナの歴史見学会

A・P研究会一種研の参加者の一部が、5月17日の午後に嘉数(かかず)送信所と琉球放送株式会社(RBC)本社を見学しました。嘉数送信所は全国で唯一、テレビとAMラジオの兼用親局送信所であり、琉球放送(RBC)のテレビ放送とAMラジオ放送、並びに琉球朝日放送(QAB)のテレビ放送を送信しています。2028年のAM放送終了前に見学できたことは非常に貴重で、参加者は自立式放送所のアンテナ鉄塔やRBC本社の編集スタジオ、ニューススタジオ(写真5)、RBC本社屋上に設置されているアンテナ設備(写真6)などを熱心に見学しました。



写真4 嘉数(かかず)送信所に設置されている鉄塔と見学者達



写真3 左一: A・P研究会委員長榊原久二男教授  
左二: 講師佐藤啓介氏  
スクリーン中: 講師横田光広教授  
右二: AP-S Fukuoka Chapter Chair 藤本孝文先生  
右一: AP-S Fukuoka Chapter Vice Chair 松岡剛志先生



写真 5 RBC 本社のニュース・天気予報スタジオ

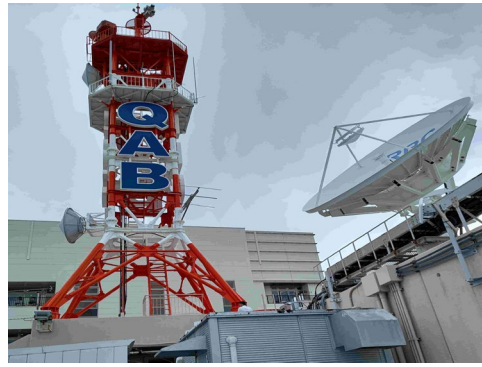


写真 6 RBC 本社の屋上に設置されているアンテナ

### 【3】副委員長の戯言

#### ◆クイズ

①写真7には、数名の熱心な参加者が嘉数放送所の鉄塔下で腰を曲げていますが、彼らは一体何をしているのでしょうか？

②写真8は県庁の屋根の一部ですが、真ん中がへこんでいます。このへこみは何のためにあるのでしょうか？

#### ◆研究会の発表件数について

昨年5月の沖縄での研究会発表件数に比べて、今回の沖縄での発表件数は少なくなりました。沖縄が不人気だったのか、あるいは4月に開催されたiWAT2024の影響なのか、その理由ははっきりしません。しかし、7月に北海道で開催される研究会の発表件数は、なんと3つの研専で合計61件となっています。これからの研究会にも皆さんの奮ってご参加をよろしくお願いいたします。



写真 7 鉄塔の下にいる見学者達



写真 8 沖縄県庁のビル

---

#### 〈問い合わせ先〉

アンテナ・伝播研究専門委員会副委員長 袁 巧微（東北工業大学）

E-mail: ap\_ac-chair@mail.ieice.org (A・P研執行部のメールアドレス)

AP-NET: A・P研最新情報を毎月メールにてお届けします!! 登録はA・P研HPにて

A・P研HP: <https://www.ieice.org/cs/ap/>

